

1. はじめに

1-1 長期構想とは

「長期構想」とは、港湾管理者が、概ね20～30年の長期的視点から、港湾空間利用の基本的な方向性を取りまとめるものです。

「千葉港長期構想」は、千葉港の現状の問題点・課題を踏まえ、千葉県民、千葉港の背後に立地する荷主企業等の利用者や港湾関係者から、千葉港に対する期待や要請を聴取し、概ね20～30年後の将来を展望する長期的な指針として、千葉港の将来像やその実現に向けた取組みを取りまとめるものです。

策定した「長期構想」を踏まえ、概ね10～15年後の具体的な整備計画である「港湾計画」を検討していきます。

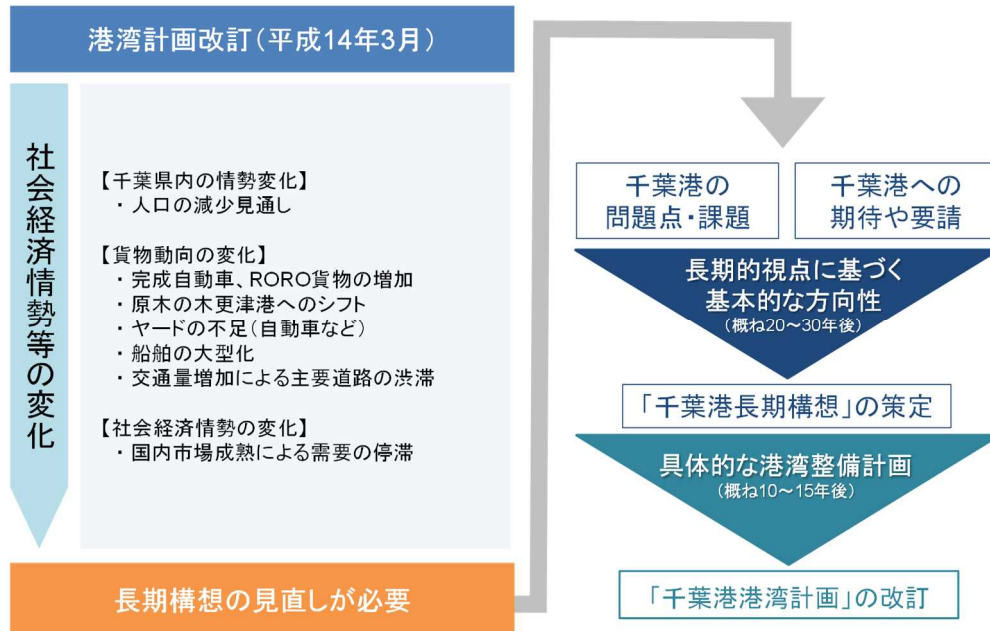


図 1-1-1 千葉港長期構想策定の位置付け

1-2 長期構想検討の経緯

表 1-2-1 長期構想検討の経緯

日時	議題
平成27年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> 千葉港の現状と課題 長期構想の方向性
平成27年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> 千葉港のニーズと課題 整備の方向性 港湾の能力（参考）
平成28年3月17日	<ul style="list-style-type: none"> 空間利用ゾーニングと施策展開
平成28年9月14日	<ul style="list-style-type: none"> とりまとめ